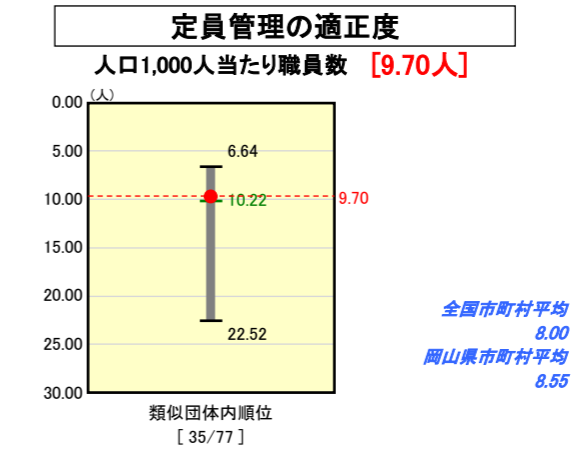
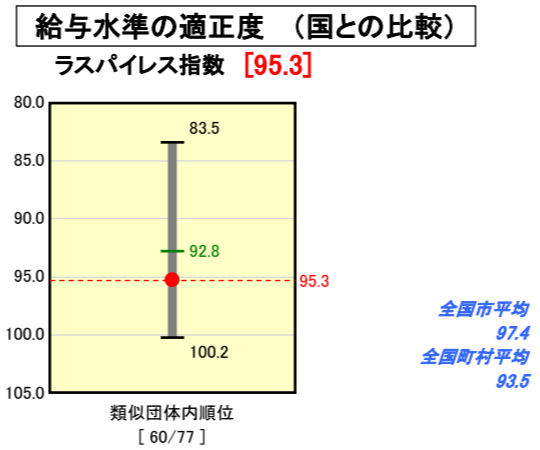
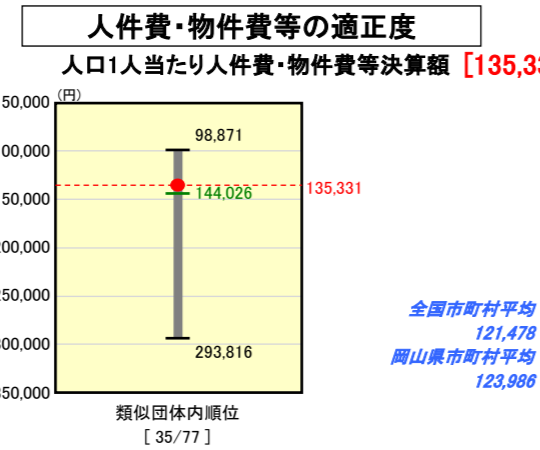
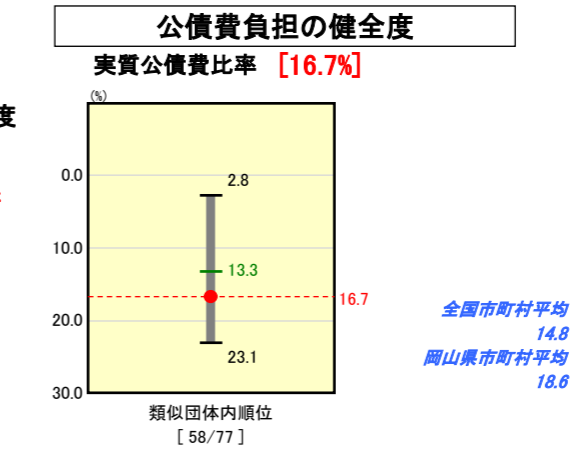
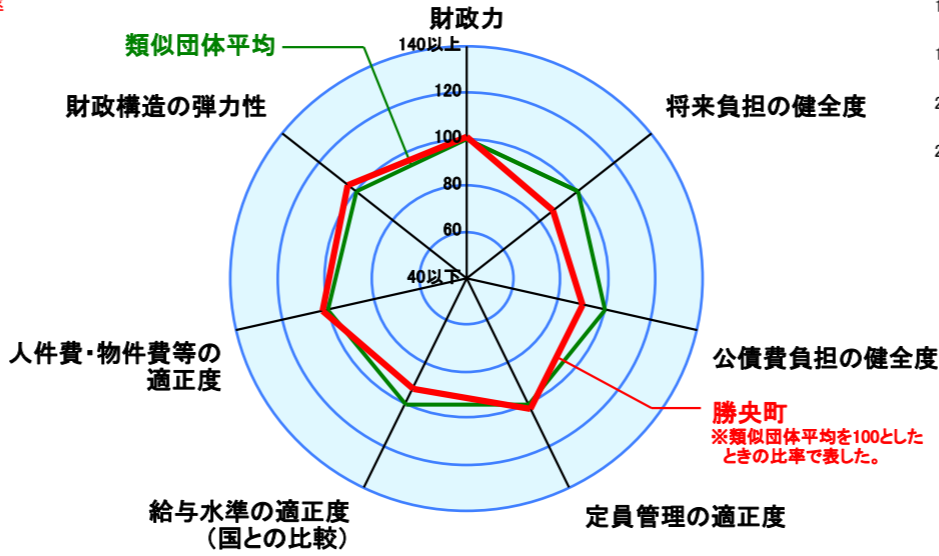
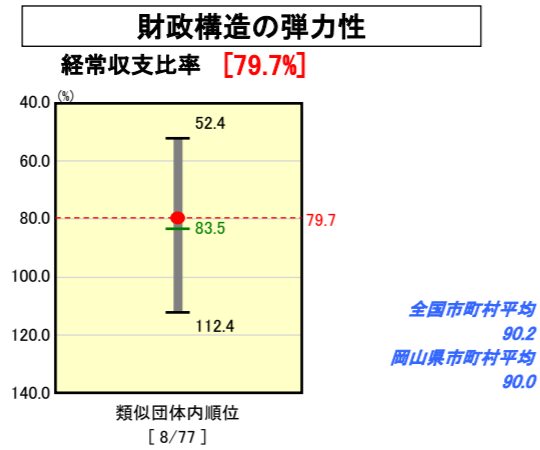
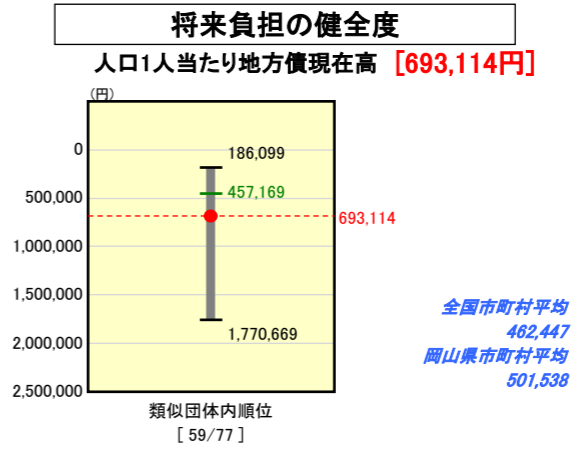
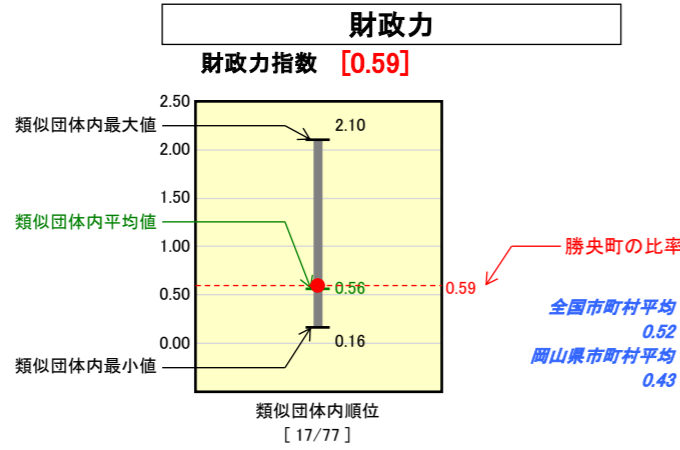


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 岡山県 勝央町

人口	11,541	人(H18.3.31現在)
面積	54.09	km <sup>2</sup>
歳入総額	5,072,072	千円
歳出総額	4,865,672	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力指数】**  
勝央町中核工業団地の誘致企業を中心に安定した税収があるため、類似団体平均値を上回っているが、景気変動などによる法人町民税の落ち込み等不安定要素も考えられ、今後も企業誘致を進めるなど引き続き安定収入の確保に努める。

**【経常収支比率】**  
類似団体の平均を下回っているものの、「集中改革プラン」に掲げたとおり、退職者不補充・新規採用者の抑制(2年に1回の採用)による職員数の減、非常勤職員の報酬の見直し(年間約250万円減)等による人件費の削減など行財政改革への取り組みを通じて義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持する。

**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】**  
従来から職員手当の見直し、人員の削減、各種事務経費の見直し等により人件費、物件費を抑制しているが、「集中改革プラン」に掲げたとおり、各種補助金等(年間約1,500万円減)や内部電算経費の見直し、また指定管理者制度の積極的導入により委託化を図る(ごみ収集)などとしてコスト削減に努める。

**【ラスパイレズ指数】**  
数値は階層の変動や職種の移動等により一時的に平均値を上回ったものと分析されるが、今後なお一層の適正化に努める。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
平成13年度から16年度に実施した総合文化施設整備事業債と下水道広域化出資債(苦田ダム関連)により、近年類似団体より高くなっているが、新規地方債の発行抑制と可能な限りの繰上償還により、現在高の抑制に努める。

**【実質公債費比率】**  
普通建設事業費に係る起債の償還等(本町においては下水道事業に係る償還)が上昇し、類似団体平均をやや上回っている。今後下水道事業は平成23年ごろまでには事業終了の予定であるため、償還については減少していくことが見込まれる。今後の発行額の抑制が重要課題である。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
類似団体と比較しほぼ平均的であるといえるが、本町は一般行政職員のほか直営保育園の専門職員・学校給食職員等を抱えている。今後、北部3小学校の統合等により職員の削減を図っていく方針である。「集中改革プラン」における22